

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 31 日

事務事業名		ごみ減量化啓発事業					事業区分			担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No. 041001000214		
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課 030301		
政策体系	総合計画の施策名	0410 廃棄物の抑制と適切な処理					主要事業	対象外	環境対策課		
	政策名	04 快適で潤いのある生活環境づくり					市長マニフェスト	対象外			
	施策名	10 廃棄物の抑制と適切な処理					未来PJ事業	対象外	グループ 環境公害対策G		
	基本事業名	01 ごみ減量化の推進					合併建設計画事業	対象外			
		財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	04	02	02	01	00	ごみ減量化対策事業				
法令根拠		廃棄物の処理及び清掃に関する法律・桜川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例・容器包装リサイクル法					単年度繰返し (年度～)				
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
【事務事業の内容】 ごみの減量化を図るため、分別収集及びリサイクルを推進する 【担当者が行う業務の手順】 ・ごみの分別収集等のお知らせ (ごみカレンダー) の全戸配布 ・市民へ分別収集及びごみ減量化についての協力依頼 (広報紙及び文書配布等) ・ごみ及び資源物収集量の集計及び分析 ・リサイクル収集による資源物を売却し、各行政区へ還元してリサイクルの推進を図る。 ・各行政区へ分別収集報奨金の支払い。 【事業費の内訳】 報奨費	事務事業の概要に同じ ・広報紙掲載及び、市民祭等各種イベントで、ごみの減量化の推進・啓発活動を実施した。 ・資源物を行政区別に品目ごとに集計を行い、売却金を実績に応じ、各行政区へ還元した。 ・ごみの分別収集等のお知らせ (ごみカレンダー) の全戸配布を行った。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)		④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ごみ減量化についてのアピール活動 報奨金の支払		リサイクル収集を行っている地区数	地区	120.00	120.00	0.00	0.00	0.00
		広報紙掲載	回	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市民		人口	人	43,190.00	42,651.00	42,165.00	41,679.00	41,193.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ごみの分別 (リサイクルの推進)		資源ごみ収集量	t	852.00	845.00	900.00	950.00	1,000.00
		ごみ総収集量	t	9,435.00	9,280.00	9,150.00	9,000.00	8,800.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	7,000	7,000	9,000	9,000	9,000
	事業費計 (A)	千円	7,000	7,000	9,000	9,000	9,000	0
人員費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	/
	述へ業務時間	時間	312.00	295.00	294.00	294.00	294.00	
	人件費計 (B)	千円	905	856	853	853	853	
トータルコスト (A)+(B)		千円	7,905	7,856	9,853	9,853	9,853	

		27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
事業費の内訳	08 報償費	7,000			08 報償費	9,000	
	合計	7,000					9,000

(4) 当該年度の実施内容

	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	ごみ減量化啓発事業	事務事業No.	41001000214	所属課	環境対策課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 廃棄物の発生を抑制するとともに、廃棄物をリサイクルすることによって廃棄物の減量を図るために、平成7年『容器包装リサイクル法』が制定された。これに伴い、分別収集や指定ごみ袋制度が開始された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ごみ減量化及び資源循環型社会の形成に貢献している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である この事業の推進は、ごみ処理費の軽減に反映される。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 現在のところ、適切に分別されている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ごみの排出量が増加するため、処理費用が増える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 還元金を減額するとリサイクル推進に影響すると思われる、人件費については、担当一人ではほぼ対応している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民を対象として実施している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 真壁地区、大和地区にて資源ごみが不燃ごみとして多く出されている現状である。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 H28より、資源物と不燃ごみを同時に回収することにより、資源ごみの向上が見込まれる。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---